

夢×人×地域「社会とつながる特別支援学校」推進事業

高等部 普通科内「職業コース」の実践研究

(令和元年度～令和3年度)

R2年度 研究のまとめ ver. 1.3

- 「職業コース」の試行開始に向けて -

令和3年3月

宮崎県立みやざき中央支援学校

目 次

I	研究主題	1
II	主題設定の理由	1
III	研究の仮説	1
IV	研究の組織	1
V	研究の方法	2
VI	研究計画	2
VII	研究の実際	
1	構想・展望	3
2	具体的確認事項	
(1)	『職業コース』設置に向けた計画	3
(2)	『職業コース』の目標	4
(3)	『職業コース』生徒の3年間の学習内容 (概要・教育課程等)	6
(4)	その他 本校高等部の学習の特色	17
(5)	「作業学習」に関して	17
(6)	これまでの主な就労先に関して	18
(7)	『職業コース』生徒選考の流れ	19
(8)	想定される学級数と職員生徒構成	21
VIII	研究のまとめと今後の課題	22

I 研究主題

知的障がい特別支援学校における 高等部普通科内「職業コース」に関する研究

II 主題設定の理由

特別支援学校生徒の就労に向けた職業教育や進路指導を強化するため、特別支援学校高等部の軽度知的障がいの生徒を対象とした就職を目指す「職業コース」についての研究を行うことは非常に有意義であると考えた。

合わせて、本校では、児童生徒の卒業後の自立と社会参加を目指して、自ら学び、心豊かでたくましく生きる児童生徒の育成を目指している。高等部の目標においても、『社会生活や家庭生活・職業生活のために、自分の役割を果たし、働く喜びを感じ、貢献する態度を身につける。』ことをねらいとして教育活動を行っている。

本研究を実施することで、これらの目標を達成できると考え、この主題を設定した。

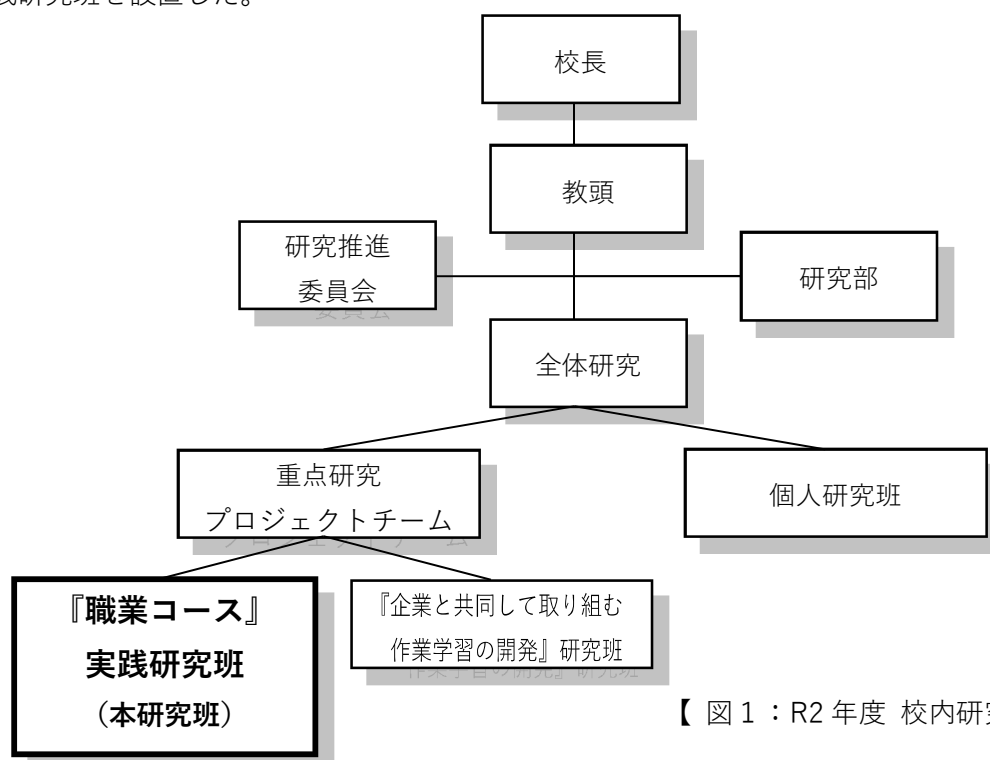
III 研究の仮説

これまで本校高等部にて実施してきた「III課程」について評価改善を行い、『職業コース』として発展させ、より細やかな体制を整備することにより、生徒のより一層主体的に学ぶ力が育つであろう。

また、就労に向けた職業教育や進路指導を強化していくことにより、特別支援学校高等部に在籍する軽度知的障がいのある生徒の、障害者雇用枠での就職率を向上させることができるであろう。

IV 研究の組織

研究組織を図1のように定めた。重点研究プロジェクトチームの1つとして、『職業コース』実践研究班を設置した。



【 図 1 : R2 年度 校内研究組織図 】

V 研究の方法

以下のように研究を進めた。

- 1 高等部内に設置したプロジェクトチーム（学部主事・学年主任・教務主任 計5名）において、『職業コース』を設置するための具体的な手順や方法、及び、現在のⅢ課程に関する評価改善について、その在り方を検討した。
また、他県先進校の視察を行った（令和元年度実施済）。
- 2 プロジェクトチーム内で創出された「案」を高等部会にて議題として提案し、必ず協議を経たうえで決議・コンセンサスを図った。
学校長のアドバイスや承認等必要な場合は、高等部会に出会を依頼した。
- 3 検証が必要な事項が生じた場合は、現在のⅢ課程にて実践の後、評価改善を行った。
- 4 職員会議等を活用しながら校内（小学部・中学部・寄宿舎も含む）にも発信し、学校内のコンセンサスも図っていった。
- 5 学校公開や受検前教育相談、令和3年度以降のオープンスクール、ホームページでの広報等も活用して、今後、対外的にも「職業コース」の開設について啓発を図っていく。

VI 研究計画

1 研究の期間

本研究は、令和元年度から令和3年度までの3カ年で取り組むこととした。

2 研究の概要

特別支援学校生徒の就労に向けた職業教育や進路指導を強化するため、特別支援学校高等部等部の軽度知的障がいの生徒を対象とした就職を目指す「職業コース」についての研究を行うこととした。

具体的には、年度ごとに以下のように取り組むこととした。

元年度	○ 現在実践している「高等部通常学級Ⅲ課程（社会生活自立や障害者雇用枠での一般就労を目指す教育課程）」の、教育課程全般の評価・改善を行った。
2年度	○ 県教育委員会や各種関係機関との連携のあり方、学校内外への啓発のあり方、3年度からの試行実施のあり方等について、詳細の調整を行った。
3年度	○ 試行実施による、効果の検証・課題の分析を行う。

2 研究の進め方についての確認事項

組織が大きく、職員数が多い本校において研究を円滑に進めるために下記のことについて共通理解を図った。

- ① 学校（職員）全体で取り組み、研究において立場は対等に協議できること。
- ② 議論は自由であり、意見は代案をもった建設的な「改善案」であること。
- ③ 協議した結論を、「全体の総意」として共有できるようにすること。
- ④ 議題の解決方法が、具体的に明確にできるようにすること。

(～したい、で終わらない)。

VII 研究の実際

1 『職業コース』設置に向けた計画

- (1) 現在実践している、「高等部通常学級Ⅲ課程（社会生活自立や障害者雇用枠での一般就労を目指す教育課程）」を、高等部普通科内『職業コース』とする。
- (2) 令和3年度より試行開始とする。
- (3) 学校公開や受検前教育相談、令和3年度以降のオープンスクール、ホームページでの広報等も活用して、対外的にも「職業コース」の開設について啓発を図っていく。
- (4) 3年度の試行において、微調整を行い、4年度より本格実施とする。

2 具体的確認事項

(1) コンセプト

具体的コンセプトを以下のように定めた。

- 「**社会とつながる**」ために「**職業生活**」を目指します。
～障がいの程度が比較的軽度の生徒を対象とした、フルタイム就労をしたいという意欲をもった『**一般就労（障害者雇用枠での就労）**』を目指すコースです。
- **こんな生徒を育てます。**（「福祉・流通班」の目標より）
 - ・卒業後、働きたいという意欲があり、作業活動に積極的に取り組むことができる。
 - ・自ら学ぼうとする意欲をもち、協働的に取り組み、職業人として、必要な人間性を身に付けることができる。
 - ・基本的な仕事の仕組みが分かり、それに関連する技術を身に付けることができる。

特色

○ 教科別指導の充実

- ・一般就労を目指し自立して生活するために必要な知識・技能・態度を身につけるため、職業コースでは、独自に「職業」「情報」「社会」「道徳」の学習に取り組む。

○ 「福祉・流通班」での作業学習の実践

- ・「職業コース」の生徒は、就労の可能性の高い業種の作業内容で構成した作業班「福祉・流通班」で2年間学ぶ。

(2) 『職業コース』の目標

「職業コース」の目標について協議を行ってきた結果、以下のように設定することとした。
設定に当たっては、小・中学部及び卒業後についても加味して検討した。

【表1：本校の具体的教育目標「大切にしたいこと」】

		重複障がい学級	通常学級
卒業後		<ul style="list-style-type: none"> ○安心して楽しく過ごせる環境・場所 ○他者との関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ○安心して自分らしく過ごせる環境・場所 ○生活を楽しめること ○認められる・活躍できる・有用感を得られる場
高等部		I 課程 (i・ii・iii) <ul style="list-style-type: none"> ○楽しい雰囲気 ○様々な人との関わり 	II 課程 <ul style="list-style-type: none"> ○安心してのびのびできる環境 ○保護者・施設・寄宿舎との連携 ○本人が活躍できる場 III 課程 職業コース <ul style="list-style-type: none"> ○本音を出せるような関係づくり ○社会生活や就労を見越した支援 ○将来への夢
中学部		I・II 課程 <ul style="list-style-type: none"> ○楽しい雰囲気 ○いろいろな人との関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ○安心してのびのびできる環境 ○様々な体験を通して興味・関心を広げること ○いろいろな人との関わり
小学部	6 5 4	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しい雰囲気 ○身近な人との関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ○安心して楽しく過ごせる環境 ○いろいろな体験を通して、興味・関心を広げること ○身近な人との関わり
	3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しい雰囲気 ○先生や友達との関わり 	

本人や家族の思い

【表2：本校の具体的教育目標「身につけさせたい力」】

		重複障がい学級	通常学級
卒業後		<ul style="list-style-type: none"> ○意思や感情をいろいろな形で表現する ○他者の支援に応じる力 ○いろいろな場で過ごせる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○正しく適切に判断できる力 ○相談できる力 ○働き続ける力
高等部		I 課程 (i・ii・iii) <ul style="list-style-type: none"> ○意思や感情をいろいろな形で表現する力 ○身辺処理などの支援に応じる力 ○皆と一緒に過ごせる力 	II 課程 <ul style="list-style-type: none"> ○気持ちを伝える力 ○基本的な生活行動を自ら行う力 ○皆と一緒に活動できる力 III 課程 職業コース <ul style="list-style-type: none"> ○人と関わる力 ○自立して生活する力 ○余暇の過ごし方
中学部		I・II 課程 <ul style="list-style-type: none"> ○意思や感情をいろいろな形で表現する力 ○身辺処理などの支援に応じる力 ○皆と一緒に過ごせる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○意思や気持ちを伝える力 ○基本的な生活行動を行う力 ○いろいろな人と一緒に活動できる力
小学部	6 5 4	<ul style="list-style-type: none"> ○意思や感情をいろいろな形で表現する力 ○身辺処理などの支援に応じる力 ○身近な人と一緒に活動できる力 	<ul style="list-style-type: none"> ○意思や気持ちを伝える力 ○基本的な生活に必要な力 ○身近な人と仲良く活動できる力
	3 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ○意思や感情をいろいろな形で表現する力 ○様々な支援に応じる力 ○先生や友達と一緒に活動できる力 	

〈 参考：高等部 「教育課程説明会」 時に示した目標の概要 〉

	重複障がい学級	通常学級	
	I 課程	II 課程	III 課程 「職業コース」
3 年生	○楽しんで取り組める活動を見つけ、生きがいづくりを行う。		○ <u>一般就労を目指し、自立して生活する。</u>
2 年生	○自分の気持ちを色々な形で表現する。 ○みんなと一緒に過ごす。	○自分の気持ちを伝える。 ○みんなと一緒に活動する。	○ <u>色々な人と関わり合いながら成長する。</u> ○ <u>仕事以外の、自分の楽しみを見つける。</u>
1 年生	○できることは自分でする。困ったときはお願いする。	○自分のことは、自分でやろうとする。	

特色 通常学級1年生は、教育課程上は、全員「II 課程」となる。
進級前に、適性や、本人・保護者のニーズを踏まえて「職業コース」の生徒を学校が選考する。

(3) 『職業コース』生徒の3年間の学習内容（概要・教育課程等）

学年	学習内容（概要）
1年生	<ul style="list-style-type: none"> ○ 通常学級は全員Ⅱ課程となる。Ⅱ課程の学習に取り組む。 (下表4参照) ○ 9月に、「教育課程説明会」を学年主任より受ける。2年生より、教育課程に「職業コース」が加わることを知る。 ○ 現場実習は、全員「校内実習」に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ただし、1年生学年会の判断で、2年生から「職業コース」の可能性があるとされる生徒は、2学期の現場実習で2年生と一緒に校外実習「住吉フィールド」に取り組む。 (より実践的に、働く力が備わっているかを職員が見極めるため。)
2年生	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「職業コース」の生徒は、「職業コース」用に設定された学習に取り組む。 (下表5・6参照) ・ 各教科を合わせた指導は以下のようなになる。 <ul style="list-style-type: none"> a 「日常生活の指導」は帯の1時間のみ。 (Ⅱ課程は、1時間目前半が日生となる。Ⅱ課程の時数は3.5時間) b 「作業学習」においては、2・3年生 職業コースの生徒全員が、『福祉・流通班』に属する。 ・ 教科別の指導を、Ⅱ課程よりも6.5時間多く設定する。 ・ 領域別の指導では、特設した時間の指導として「道徳」を取り扱う。 (Ⅱ課程とⅢ課程 職業コースの違いについては下表6参照) ○ 必要に応じて、2年生においても、9月に「教育課程説明会」を学年主任より受ける。教育課程に「職業コース」があること、他の教育課程との違いをあらためて知る。 ○ 現場実習は、全員「校外実習」に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Ⅲ課程 職業コースの生徒は、より一般就労に近い事業所を中心に実習に取り組む。(塩川産業・友愛の里 等)
3年生	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Ⅲ課程 職業コース」の生徒は、Ⅲ課程の学習に取り組む。2年生と3年生のⅢ課程の時間割はほぼ同じ。(下表5・6参照) ○ 現場実習は、全員「個別実習」に取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Ⅲ課程 職業コースの生徒は、就労の可能性が出てきた企業に、積極的に個別実習に取り組む。 ・ 時期は年度内いつでもとする。先方企業の都合に合わせる。 ・ 通勤の練習も兼ねて、基本的に自宅からの通勤とする。

【表4：高等部 II 課程（1年生）の時間割】

	月	火	水	木	金
1	日生	日生	日生	日生	LHR
	生単	数学	作業	数学	
2	作業	数学		生単	作業
3		美術		保体	
4				国語	
5	家庭科	音楽	保体	国語	生単
6		保体	音楽	自立	

※ 2・3年生では国語・数学が1時間ずつ減り、生単が2時間増える。

【表5：高等部 III 課程職業コース（2年生）の時間割】

	月	火	水	木	金
1	職業	道徳	職業	数学	LHR
2	作業	数学	作業	国語	作業
3		音楽		音楽	
4		国語		保体	
5	美術	保体		情報	家庭科
6	保体	美術	社会	家庭科	

※ 太線の教科は、III課程のみ学習するもの。

【表6：高等部 II 課程とIII課程（2・3年生） 学習内容の違い】

	II 課程	III 課程 職業コース
各教科を合わせた指導 (日生・生単・作業)	・「生活単元学習」 週 4.5 時間実施	
	※「日常生活の指導」 週 3 時間実施	※「日常生活の指導」 帯日生のみ 1 時間
教科別の指導 (音楽・美術・家庭・ 保健体育は共通)	・「国語」「数学」を 週 1 時間実施	・「国語」「数学」を 週 2 時間実施
		・「社会」を週 1 時間実施
		・「職業」を週 2.5 時間実施 ・「情報」を週 1 時間実施
領域別の指導 (特別活動は共通)	・「自立活動」を週 1 時間実施	・「道徳」を週 1 時間実施
総合的な探究の時間	年間を通して実施	

【表7：職業コース作業学習「福祉・流通班」の年間指導計画 例①】

高等部 年間指導計画		作業(福祉・流通サービス)		年間指導 時数
<p>指導目標 (つけたい力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶、返事、報告、報告、連絡、相談、言葉遣い、時間の管理、持続力など望ましい作業態度を身につける。 就労の意義を自ら理解し、職業生活や社会自立に必要な基礎的知識や技能を高め、実践的な態度を育てる。 コミュニケーション能力を高め、周囲の人と協力して作業を進めることができる。 就労先について、自分に合ったものを選択し、就職に向けた努力をすることができる。 				
種目	内容	目標	指導の手立て	授業 形態
流通 ・ O A	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション チャレンジ検定 反省・まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> 作業内容について知り、見通しを持つことができる。 作業で求められることを知り、作業学習での心構えを持つことができる。 チャレンジ検定に向けて個別の目標を設定し、技術を高めることができるとができる。 チャレンジ検定の意味を理解して、検定を受け、自分の課題に気付くことができる。 自分の取り組みについて振り返り、反省をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の目標を立て、指示する。 検定の手順を映像や手順表で確認させる。 検定でのチェック項目を具体的に示し練習後、ミニ検定を行う。 マニュアルをもとに、検定を振り返って、自分や仲間よさを発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ① ①②③ ①③
	<ul style="list-style-type: none"> パソコンの基礎学習(ワード・エクセル) 金銭学習 各作業班の売り上げ、残高計算 各作業班の仕入れ、売り上げ、残高の入力 銀行での業務 流通業務に必要な文書の作成 作業班に必要なポスターの作成 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的なワードやエクセルの使い方を覚える。 金銭について学び、実際に運用する際の留意点等を知ることができる。 売上金を適切に計算することができる。 必要に応じて受注の実績をコンピュータ等に入力することができる。 銀行での入金・出金の仕方について学び、実際に行うことができる。 注文票、ちらし等の作成を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワード、エクセルの使い方を全体、個別で説明する。 プリント、テキスト、本物のお金等を用いて説明する。 パソコンでの売上金等の入力の仕方、及び、電卓での計算の仕方を指導し、実践で定着を図る。 通帳や入金・引き出しの伝票等を用い具体的に説明した後、実際に記入等をやってみる。その後、精算制で、職員と一緒に銀行での業務を行わせる。 依頼等も含めた各作業班の流通業務に必要な文書の作成を行う。文書作成に必要な事項、文書作成の仕方を指導する。 ポスターの中で伝えるべき必要事項を確認し、これまで作成したポスターを参考に、デザインを自分たちで考え作成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①③ ①③ ② ② ①②③ ①②③
				関連教科と 指導要領位置付け 国語 1 段階 A ア B ア 職業 2 段階 A・A アイ 国語 1 段階 A ア B ア 流通サービス 1 段階 (1)アイウ 流通サービス 1 段階 (1)アイウ (5)アイ 職業 2 段階 B アイ 数学 2 段階ウ

【表7：職業コース作業学習「福祉・流通班」の年間指導計画 例②】

メ ン テ ナ ン ス	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃の基礎学習 ・教室清掃 ・廊下清掃 ・階段清掃 ・トイレ清掃 ・窓清掃 ・フロア清掃 ・受注清掃 (窓・廊下・教室) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各作業の内容と手順を覚えることができる。 ・道具の扱い方を覚えることができる。 ・道具の準備と片付け方を覚えることができる。 ・フロア清掃の内容と手順を覚えることができる。 ・効果の良い道具の扱い方を覚えることができる。 ・周りと協力して、効果の良い道具の準備と片付け方を覚えることができる。 ・注文票と広告を作成し、営業活動を行い、受注清掃を行う中で、サービス業を体感することができる。 ・校内で身につけた掃除の技術を校外でも実施することができる。 ・よりよいサービスの在り方について意見を話し合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業ごとのマニュアルを活用する。 ・全体指導で繰り返し練習し、個人の課題点は個別指導を行う。 ・チェック表を用いて客観的に示す。 ・各フロアの廊下、階段、トイレをペアがグループで担当させ、相談しながら時間内に準備、作業、片づけが終わるように協力を促す。 ・依頼内容・設定時間に応じて実施内容を組み立てるよう助言する。 ・振り返りの際の着眼点を提示し、改善するにはどうしたらよいかを助言する。 	<p>①② ② ② ② ② ② ② ② ②</p>	<p>流通サービス (4)アイ</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>職業 A アイ</p> <p>国語 1 段階 A アイウ</p>
福 祉	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉に関する基本的な学習 ・接遇（カフェの営業） ・クリーニング作業 ・移動介助 ・ベッドメイキング (外部講師研修) ・老人ホーム清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉に関する基本的な内容を習得することができる。 ・ペアやグループでの作業を通して、連絡し合うことや意思の疎通を図りながら作業する大切さを身につけることができる。 ・カフェの営業を通して、言葉遣いや笑顔に気をつけた気持ちの良い接客を学ぶことができる。 ・クリーニング作業の受注開始から洗い、乾燥、仕上げ、配ままでの一連の流れを理解することができる。 ・細かい汚れを注視したり、素材に応じた扱いに慣れたりすることができる。 ・車椅子の操作の仕方について知り、気持ちの良い移動介助をすることができる。 ・ベッドメイキング講習を通して、効率のよい作業のやり方を学ぶことができる。 ・老人ホーム清掃の手順を覚え、マナーを守って清掃する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の教科書を用いて基本的な学習を行う。 ・作業の工程間で必要な伝達事項を必ず言葉で伝えるように支援する。 ・マニュアルをもとに活動するとともに、「丁寧な接客」について意識させることで、自ら気持ちの良い接客ができるようになる。 ・タオルやシューズなどのクリーニング作業を行う。 ・事務室や保健室等、校内のクリーニング作業にまずは取り組み、上達後、校外の受注も開始したい。 ・車椅子の操作の仕方について、映像や職員の実技を通して学習後、ペア学習を行い、気持ちの良い移動介助について考えさせる。 ・清掃している老人ホーム職員に依頼する。終了後、振り返り、お礼の手紙書きをさせる。 ・振り返りで、話し合い活動を取り入れることで、自分たちで気持ちの良い接客や介助を考えて、行動できるようにさせる。 ・清掃している老人ホーム職員に依頼する。終了後、振り返り、お礼の手紙書き ・安全確認と快い挨拶を第一に取り組ませる。 	<p>① ② ② ② ①② ①② ②</p>	<p>福祉 1 アイウ 国語 1 段階 A アイウ</p> <p>国語 1 段階 A (イ) 職業 2 段階 A アイ 家政 1 ⑥ 流通 1 アイウイ 国語 1 段階 A (イ) 家政 1 ⑥ 職業 2 段階 A アイ 国語 1 段階 A (イ) 家政 ⑧ 福祉 3 アイウイ 福祉 ④ イ 国語 1 段階 思 B イウエオ 国語 1 段階 A (イ) 国語 1 段階 思 B アイエオ</p>

※授業形態 ①一斉 ②グループ ③個別

【表7：職業コース作業学習「福祉・流通班」の年間指導計画 例③】

		作業計画											
		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
オリエンテーション													
		まとめ	チャレンジ検定						まとめ	まとめ			
流通・O A													
メンテナン													
ス													
福祉													

- ・パソコンの基礎学習（適宜）
（ワード・エクセル）
- ・金銭学習（適宜）
- ・各作業班の売り上げ、残高計算
- ・各作業班の仕入れ、売り上げ、残高の入力
- ・銀行での業務
- ・流通業務に必要な文書の作成
- ・作業班で必要なボスターの作成



- ・清掃の基礎学習
- ・教室清掃
- ・廊下清掃
- ・階段清掃
- ・トイレ清掃
- ・窓清掃
- ・フロア清掃

- ・受注清掃（窓・廊下・教室）

- ・福祉に関する基本的な学習（適宜）

- ・接客（カフェの営業）
- ・クリーニング作業

- ・移動介助

- ・接客（カフェの営業）

- ・老人ホーム清掃（老人ホームの受け入れに合わせて）
- ・ベッドメイキング（外部講師研修）

【表8：職業コース 2年「社会」の年間指導計画 例①】

高等部年間指導計画			2年	教育課程 Ⅲ 課程	教科名 社会	年間授業数	33	
指導目標 (ついでに)		教科書 教材					教科書 教材	
NO.		単元(題材)		指導の工夫		教科書 教材		
		(1) 簡単な地区に慣れながら、日本の地理について理解する。 (2) 地域の特産物や特徴について理解し、歴史や伝統に関心をもつ。 (3) 現在の日本や世界の出来事に関心をもつ。		○主な学習内容 ◆わらい		東洋館出版社 「らしに役立つ社会」		
1.	1.	通年	＜授業の導入＞ 私が気になるニュース 現代社会と私たち	＜授業の導入：5分間で実施＞ ◆新聞やテレビなどで報じられている時事ニュースを発表する。 ○現代社会と私たち ◆生活の変化や社会参加・自立、これからの社会を学習する。	社会情勢・政治に限らず、スポーツなど興味を持ったニュースを発表させる。 教科書だけでなく新聞記事なども活用し、社会情勢などに目を向けさせる。	新聞記事 調べ学習プリント P5～P8	学習指導要領 ①	
2.	2.	4.	地区の見方	○地図のまわりや地図の種類 ◆地図の方位などときまじりや地区の種類を学習する。	地形図、道路地図、住宅地図がわかるように、プリントなどを用いる。	P70～P74 (地図帳)	①	
3.	3.	5.	日本の都道府県 ※コロナ感染症による影響 時任教	○日本の都道府県と県庁所在地 ◆都道府県名、県庁所在地、面積や人口などを学習する。	白地図に、県名・県庁所在地を書き込ませ、地方を色分けさせる。	巻頭のカラー地図 白地図プリント	①	
4.	4.	5.	日本各地の地理・歴史 宮崎県 ひむかす 九州地方 ※コロナ感染症による影響 時任教	○日本各地の特色 ◆宮崎県の気候や歴史、文化、特色に関心をもつ。 ◆九州地方の気候や歴史、文化、特色に関心をもつ。	宮崎県の人口、市町村名、特産品、特色などを取り上げ、興味を持たせる。 九州地方の特色などに注目する。	ひむかすムベージ 宮崎県の白地図 P78～P81	①	
6.	6.	6.	日本各地の地理・歴史 中国・四国地方 近畿地方	○日本各地の特色 ◆中国・四国地方の気候や歴史などに関心をもつ。 ◆近畿地方の気候や歴史、文化、特色に関心をもつ。	宮崎県を手がかりにして、地域の特色や気候の違いなどに注目する。	P82～P89 P90～P93	①	
8.	8.	7.	日本各地の地理・歴史 中部地方 関東地方 東北地方、北海道	○日本各地の特色 ◆中部地方の気候や歴史、文化、特色に関心をもつ。 ◆関東地方の気候や歴史、文化、特色に関心をもつ。 ◆東北地方、北海道地方の気候や歴史などに関心をもつ。	宮崎県や九州と比較したりしながら、地域の特色や気候の違いなどに注目する。	P94～P97 P98～P101 P102～P109	①	
11.	11.	9.	日本の地理 小テスト	○日本の地理についての復習 ◆1学期に学んだ地理の内容を、小テストで確認する。	学習した内容を教科書・プリントで確認させながら、小テストに取り組ませる。	P69～P109	①	